

若き才能が集う熱き舞台へ！第33回まんが甲子園予選審査会開催

第33回全国高等学校漫画選手権大会（まんが甲子園）の予選審査会が、令和6年6月14日（金）高知県庁正庁ホールにて開催されます。

つきましては、ご多用の中大変恐縮ですが、予選審査会の模様をご取材いただきますようご検討よろしくお願いたします。

ご質問等ございましたら、お気軽に以下担当までご連絡をよろしくお願いたします。

【開催概要】

- 日程：令和6年6月14日（金）9:30～
- 会場：高知県庁正庁ホール
- メディア様 撮影可能時間
 - ・審査開始後20分間（9:30～9:50）
 - ・結果発表（15:00～15:40）

【取材ポイント】



まんが甲子園は、1992年に始まり、30年以上の歴史を誇る全国規模の大会です。多くの才能ある若者たちがこの舞台で輝いてきました。

まんが甲子園は、国内外の高校生が学校ごとに3～5名でチームを結成し、テーマに沿って「1枚まんが」を描く競技大会です。

参加する生徒は「高校ペン見」と呼ばれ、今年の予選テーマである「脱出」と「サブスク」からいずれかを選択し、チームでテーマに沿った作品を制作し応募。予選審査会ではプロの漫画家による投票で応募作品の中から本選大会進出校を選定します。

予選を通過したペン見たちは、8月に高知市で開催される本選大会に進出、本選では新たなテーマが出題され、限られた時間内でB2大のパネルに描き上げる舞台で全国・世界のライバルたちと腕を競い合います。



(C) Koume Fujichika/SQUARE ENIX



◎とよ田みのる／小学館

まんが甲子園は、大手出版社によるスカウト制度があり、優れた作品はプロの目に留まるチャンスがあることから新人漫画家の登竜門としても注目されています。本選大会では、過去にまんが甲子園でスカウトを受け漫画家としてデビューを果たした藤近小梅先生がゲスト審査員を務められます。

また、もう一人のゲスト審査員は、昨年のマンガ大賞を受賞された漫画家とよ田みのる先生です。とよ田先生描き下ろしの第33回まんが甲子園本選大会ポスターのリリースも予定しています。

全国高等学校漫画選手権大会 まんが甲子園 公式ウェブサイト

<https://mangaoukoku-tosa.jp/manga-koshien/>

本件に関するお問い合わせ

担当者：高知県文化国際課まんが王国土佐室 中平、大川

連絡先：088-823-9711

メール：140201@ken.pref.kochi.lg.jp